

北の国災害サポートチーム 事業報告

【2021年10月1日～2022年9月30日】

■ 三者連携の構築・促進のための体制整備

- ・ 「有珠山地区意見交換会 in 洞爺湖町」 （開催日：2021年10月12日、参加者数：21名）

有珠山噴火災害に備え、地元地域の行政・社会福祉協議会関係者や活動団体等と地域外の支援関係者を交えた支援体制の構築、ネットワークの拡大を目的に、火口遺構公園の見学を含めた意見交換会を実施。

- ・ 「防災に関する意見交換会～三者連携を考える～」 ※共催 （開催日：2021年10月29日、参加者数36名）

主催：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

旭川地域で活動する団体や活動内容を知り、行政、社会福祉協議会、NPO等が連携することで、災害時発生時にどのような支援ができるかを考え、理解を深めることを目的に開催。

- ・ 「釧路地区意見交換会 2021」 （開催日：2021年11月24日、参加者数：18名）

千島海溝を震源とする地震・津波災対に備え、多様な機関の関係者が顔の見える関係性を作ることを目的に、釧路地域における災害発生時の被害予測から支援を考え、過去の災害支援活動者の報告を踏まえた意見交換会を実施。

- ・ 「有珠山噴火に向けた胆振管内市社協意見交換会」 （開催日：2022年1月27日、参加者数：10名）

主催：一般社団法人 Wellbe Design

有珠山の噴火災害に備え、胆振管内4市の社協と、災害ボランティアセンターの運営にかかる状況や噴火に向けた取り組み等についての意見交換会を実施。

■ 災害支援従事者への研修活動

- ・ 「災害ボランティア技術系研修会 2021 in 石狩」 （開催日：2021年10月2日・3日、参加者数：2日間延べ38名）

建設重機や大工系の技術を持つ「技術系災害ボランティア」の必要性や、活動上の関係機関との連携を学び、重機等の実演・試乗も交えた研修会を実施。全国各地の災害被災地で活動する団体を講師に招き、使用した重機は建機レンタル会社の協力を得て実施。

- ・ 「災害ボランティア技術系研修会 2021 in 釧路」 （開催日：2021年11月6日、参加

者数：14名)

石狩会場で資材協力をいただいた建機レンタル会社の協力のもと、同様の内容を当団体スタッフが講師となり実施。

- ・ 「災害ボランティア技術系研修会 2021 in 室蘭」 (開催日：2021年11月13日、参加者数：10名)

釧路会場と同様の内容の研修会を室蘭市でも実施。

- ・ 「オンライン研修会 2021」 第1回 (開催日：2021年11月15日、参加者数：39名)
第2回 (開催日：2021年11月25日、参加者数：26名)

第1回は『北海道における災害時の連携を考える～生協の災害支援の役割と取り組みから～』、第2回は『災害時にも生きるネットワーク構築～パートナーシップと子どもへの支援～』として、当団体の関連組織や協会員団体をゲストに過去の災害時の支援活動事例を取り上げるとともに、各機関の強みを生かしたスムーズな支援体制構築を目的に開催。

- ・ 「災害ボランティア技術系研修会～バックホーに乗ってみよう」(開催日：2022年6月18日・19日、参加者数：2日間延べ23名)

建設重機や大工系の技術を持つ「技術系災害ボランティア」の必要性や、活動上の関係機関との連携を学び、重機等の実演・市場も交えた研修会を実施。全国各地の災害被災地で活動する団体を講師に招き、使用した重機は建機レンタル会社の協力を得て実施。

- ・ 「これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道」(開催日：2022年7月23日)

主催：3.11から未来の災害復興制度を提案する会

上記団体が主催する会へ協力団体として参加。当団体からも2名が登壇し、北海道胆振東部地震での支援活動等について報告。

- ・ 「西胆振地域防災を考える市民フォーラム～有珠山が噴火したらどうしますか～」 (開催日：2022年9月16日・17日、参加者数：2日間延べ69名)

主催：室蘭災害ボランティアネットワーク

当団体が主催する北海道フォーラム等を通して新たに立ち上がった上記団体のキックオフイベントとして、共催で実施。

1日目は有珠山ジオパークにて前回の噴火時の様子や体験談を当時の被災者にお聞きしながら災害遺構を散策するフィールドワークを実施。2日目は北海道外より外部講師を招き、災害時の対応や市民の共助による避難所運営等について学ぶフォーラムを実施。フォーラムには当団体からも1名が登壇。

- ・ 「ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路」(開催日：2022年9月23日、来場者数：約1,000名)

主催：ひがし北海道市民防災サポート

当団体の幹事団体である上記団体の主催事業に協力として参加。ショッピングモールのイベント会場において、災害支援活動に関するブースを出展し、活動写真や足湯道具の物品などを展示。

■ 被災地支援の在り方に関する普及・啓発

- ・ 「第2回これからの災害支援を考える北海道フォーラム～多様な主体の連携による被災者支援をめざして～」(開催日：2022年3月2日、参加者数：135名 ※オンライン参加者はアカウント数でカウント)

平成30年北海道胆振東部地震の支援記録から見えた被災者支援の効果や課題を基に、災害時の円滑な支援につながる『多様な主体との連携』をテーマに開催。